

コンテンツ一覧

記載ページ	概要
2	GBRCの組織編制が一部変わりました
3	2022年度 GBRC建築技術セミナーを開催させて頂きました 
4	GBRC東京事務所のレイアウトを変更しました
5	鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針・同解説が改定されました
	2023年4月から性能評価書への押印を省略させて頂きます
6	材料性能評価委員会（コンクリート、鋼材・ボルト等）の開催日等について

GBRC 性能評定課の業務に対する皆様のご意見やご感想をお聞かせ下さい

メールサービスで取り上げた内容（特に  の付いているコンテンツ）や GBRC 性能評定課の業務に対する皆様のご意見やご感想をお待ちしております。お送り下さいましたご意見やご感想は、今後の業務の品質向上に役立てさせて頂きます。

ご意見やご感想をお聞かせ下さい。



ご意見・ご感想はこちらへお送り下さい：seinou3@gbrc.or.jp

GBRCの組織編制が一部変わりました

新年度の組織変更など

GBRCの組織編制が一部変わりました。なお、**組織編制の変更前後でGBRCの行っている業務内容に変更はありません。**

新しい組織編制については、下記URLでご確認頂けます。

<https://www.gbrc.or.jp/outline/organization/>

また、性能評定課 材料グループの業務内容には変更はありませんが、**事務局を担当していた永田が認証部へ異動**しております。

(これまで永田が使用していた社用携帯電話は停止させて頂きました)

荒井、津平、安田の3名で、これまでと同様に対応させて頂きます。

なお、永田は**JIS認証の業務**を担当させて頂きますので、引き続き皆様とお付き合いさせて頂く機会があるかもしれません。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

「2022年度 GBRC建築技術セミナー」を開催させて頂きました

『SDGsへの取り組みに役立つ建築技術 ～ 実務におけるヒント ～』というテーマで、**2022年度 GBRC建築技術セミナー**を大阪会場（大阪市中央公会堂）と東京会場（建築会館）で開催させて頂きました。

今回は久々の集合形式とし、さらに性能評定課の他グループや GBRCの他部署と**合同開催**とさせて頂きました。当日は非常に多くの方にご参加頂き、ご好評を頂いております。

また、皆様から頂いたアンケートにつきましても現在集計を行っており、今後の業務向上等に役立てさせて頂きます。

最近ではSDGs やCN（カーボンニュートラル）に関連した材料技術が開発されておりますが、GBRCでは第三者による審査業務として**材料証明**や**環境証明**を準備しております。

材料証明や環境証明のご取得をご検討される際には、是非ご連絡下さい。



セミナー開催状況
(東京会場)



東京工芸大学 陣内先生のご講演状況
(東京会場)



島根大学 新先生のご講演状況
(東京会場)

東京事務所のレイアウトを一部変更しました

皆様の利便性の向上のため、GBRC東京事務所のレイアウトを一部変更しました。

6～8人用の会議室Bを新たに設け、待機ブースもリニューアルしております。

近くにお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。

東京事務所の所在地

〒105-0003

東京都港区西新橋一丁目5-8 西新橋一丁目川手ビル4F

アクセス

- ・都営地下鉄三田線「内幸町」駅A4a出口より徒歩1分
- ・JR「新橋」駅日比谷口より徒歩4分
- ・東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅9番出口より徒歩4分



会議室A

定員16名
(モニター使用時は14名)



会議室B

定員8名
(モニター使用時は6名)



待機ブース

4人掛け×2



2023年4月委員会承認案件から、GBRCが発行する性能評価書への押印を省略させていただきます。

なお、GBRCの独自事業（材料証明やPCa生産技術性能証明）の証明書につきましては、引き続き押印させていただきます。



鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針・同解説が改定されました

2023年2月に下記指針が改定されました。

改定

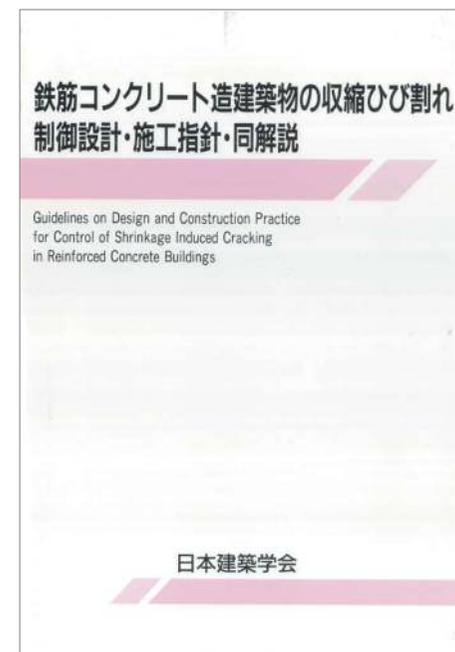
日本建築学会

鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針・同解説

2006年の「鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針（案）・同解説」制定から16年間が経過しました。その後の技術発展やRC造建築物を取り巻く環境を再整理し、さらなる指針の適用範囲拡大を目的として改定されています。主な改定のポイントを以下に示します（詳細は、当該指針等でご確認下さい）。

- ① 壁部材に対する考え方を拡張するとともに、床部材に対する考え方を示した。
- ② ひび割れ間隔も制御の対象とし、目地間隔の設計に関する考え方を整理した。
- ③ 収縮ひずみ予測式を、レディーミクストコンクリートの乾燥収縮率のデータが存在する前提の形式に変更した。また、予測式そのものの考え方も修正した。
- ④ 使用するコンクリートの級と目標とする乾燥収縮率を示した（下表参照）。
- ⑤ 仕様設計の対象となるコンクリートの設計基準強度を48N/mm²まで引き上げた。

使用するコンクリートの級	目標とする乾燥収縮率
一般	650×10 ⁻⁶ を超え800×10 ⁻⁶ 以下
低収縮等級1	500×10 ⁻⁶ を超え650×10 ⁻⁶ 以下
低収縮等級2	400×10 ⁻⁶ を超え500×10 ⁻⁶ 以下
低収縮等級3	400×10 ⁻⁶ 以下



国交省申請状況

コンクリートと**鋼材・ボルト等**ともに、国交省申請から認定書交付まで**約2ヶ月**を要しています（2023年3月現在）。
製造時期がお決まりの場合は、余裕を持ったご準備をお願いいたします。

材料性能評価委員会（コンクリート、鋼材・ボルト等）の開催スケジュール

2023年5月以降の材料性能評価委員会（コンクリート、鋼材・ボルト等）の開催予定日
 （GBRCのHPでも掲載しています：https://www.gbrc.or.jp/building_confirm/committee/）

2023年度		5月	6月	7月	8月	9月
コンクリート	事前検討会	29日	29日	24日	24日	28日
	承認委員会	26日	23日	28日	18日	22日
鋼材・ボルト等		12日	2日	7日	4日	1日

別添等の雛形（コンクリート）や 打合せについて

- ▶ 現在の別添等の最新雛形  **Ver 13.3**
※お手元にお持ちでない方はご連絡下さい。
- ▶ 事前のお打合せやご相談にも対応させていただきます（**無料**）

注) 新型コロナウイルス感染症の流行状況等によっては、開催日を変更させて頂く場合もございます。

なお、現場への実出荷等の関係で認定書の取得をお急ぎの場合には、事前検討会の臨時開催も検討させて頂きます。

法第37条第一号に該当する鋼材の指定値申請にも対応しています。鋼材やボルト等の指定値に関するご相談やご申請をご希望されている方がおられましたら、是非ご紹介下さい。

〔編集後記（津平 公彦）〕

2枚目でもご紹介しましたとおり、事務局の永田がJIS認証関係の部署へ異動しております。これに伴って、これまで永田が使用していた直通の電話番号は使用を停止しています。

お手数をおかけして申し訳ございませんが、性能評定課材料グループへお問合せの際には、津平や荒井の携帯電話（社用）へご連絡下さい。
 （携帯電話の番号は右記のとおりです）

発行者：一般財団法人 日本建築総合試験所
 建築確認評定センター 性能評定課 材料グループ
 担当者：GBRC大阪事務所 荒井正直〔内部評価員〕
 津平公彦
 GBRC東京事務所 安田真弓
 連絡先：GBRC大阪事務所 TEL 06 - 6966 - 7600（代表）
 080 - 8303 - 3869（荒井）
 080 - 8303 - 3870（津平）
 GBRC東京事務所 TEL 03 - 3580 - 0866
 E-mail：seinou3@gbrc.or.jp